

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年7月18日(2013.7.18)

【公開番号】特開2011-193910(P2011-193910A)

【公開日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-040

【出願番号】特願2010-60794(P2010-60794)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月31日(2013.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転リールの回転を開始させるスタートスイッチと、
回転リールの回転を停止させるストップスイッチと、
遊技に関する制御を行う制御装置と、を少なくとも備え、
遊技の進行を遅延させるフリーズ演出を実行可能な遊技機において、
 制御装置は、
 所定条件が定められるとともに、当該所定条件に対応するフリーズ演出の実行タイミング及び遊技の進行の停止内容が定められたフリーズ演出データを複数記憶するフリーズ演出データ記憶手段と、
 各フリーズ演出データに対応して定められた優先順位を記憶する優先順位記憶手段と、
 フリーズ演出データに基づいてフリーズ演出を実行するフリーズ演出実行手段と、を少なくとも備え、
 フリーズ演出データには、
 フリーズ演出の実行タイミングとして、所定条件を満たした遊技、又は、所定条件を満たした遊技から所定回数後の遊技のいずれかが定められ、
フリーズ演出実行手段は、
 所定条件を満たすことにより、当該所定条件が定められたフリーズ演出データに基づいてフリーズ演出を実行するものの、
 複数のフリーズ演出データの所定条件が満たされたことにより、同一の遊技において複数のフリーズ演出が実行されることとなる場合には、前記遊技において、定められている優先順位の高いフリーズ演出データに基づくフリーズ演出を優先的に実行することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記制御装置は、
 所定条件を満たすことにより、当該所定条件が定められたフリーズ演出データを記憶する実行データ記憶手段と、
 実行データ記憶手段が 1 のフリーズ演出データを記憶している際に他のフリーズ演出データに定められた所定条件が満たされた結果、これらのフリーズ演出データに基づくフリーズ演出の実行タイミングが同一の遊技となる場合であって、かつ、他のフリーズ演出デ

ータに定められている優先順位が1のフリーズ演出データよりも高いときに、実行データ記憶手段に記憶されている1のフリーズ演出データを他のフリーズ演出データに更新するデータ更新手段と、を備え、

フリーズ演出実行手段は、実行データ記憶手段に記憶されているフリーズ演出データに基づいてフリーズ演出を実行するように設定されていることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記制御装置は、

データ更新手段による更新が行われる前に実行データ記憶手段に記憶されていたフリーズ演出データを記憶する更新前データ記憶手段と、

フリーズ演出実行手段が実行データ記憶手段に記憶されているフリーズ演出データに基づくフリーズ演出を実行した後、更新前データ記憶手段に記憶されているフリーズ演出データを実行データ記憶手段に再度記憶させるデータ再記憶手段と、を備えていることを特徴とする請求項2記載の遊技機。

【請求項4】

回転リールの回転を開始させるスタートスイッチと、

回転リールの回転を停止させるストップスイッチと、

遊技に関する制御を行う制御装置と、を少なくとも備え、

遊技の進行を遅延させるフリーズ演出を実行可能な遊技機において、

制御装置は、

所定条件が定められるとともに、当該所定条件に対応するフリーズ演出の実行タイミング及び遊技の進行の停止内容が定められたフリーズ演出データを複数記憶するフリーズ演出データ記憶手段と、

フリーズ演出データに基づくフリーズ演出を実行するフリーズ演出実行手段と、を少なくとも備え、

フリーズ演出データには、

フリーズ演出の実行タイミングとして、所定条件を満たした遊技、又は、所定条件を満たした遊技から所定回数後の遊技のいずれかが定められ、

フリーズ演出実行手段は、

所定条件を満たすことにより、当該所定条件が定められたフリーズ演出データに基づいてフリーズ演出を実行するものの、

複数のフリーズ演出データの所定条件が満たされることにより複数のフリーズ演出が実行されることとなる場合には、これらのフリーズ演出データに基づくフリーズ演出を実行せず、他のフリーズ演出データに基づくフリーズ演出を実行することを特徴とする遊技機。

【請求項5】

フリーズ演出データには、フリーズ演出の実行タイミングとして、所定条件を満たした遊技から起算してn回目（nは自然数）からm回目（mは自然数、 $m > n$ ）までの遊技のうち、複数の遊技が定められているものを含むことを特徴とする請求項1、2、3又は4記載の遊技機。

【請求項6】

フリーズ演出実行手段は、

複数のフリーズ演出データの所定条件が満たされることにより、同一の遊技において複数のフリーズ演出が実行されることとなる場合であって、各フリーズ演出データにおける遊技の進行の停止内容が異なるときは、前記遊技においていずれのフリーズ演出データに基づくフリーズ演出をも実行することを特徴とする請求項1、2、3、4又は5記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

下記の発明は、上記した各目的を達成するためになされたものであり、各発明の特徴点を図面に示した発明の実施の形態を用いて、以下に説明する。

なお、符号は、発明の実施の形態において用いた符号を示し、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

(第1の発明)

第1の発明は、回転リール25の回転を開始させるスタートスイッチ37と、回転リール25の回転を停止させるストップスイッチ38と、遊技に関する制御を行う制御装置100と、を少なくとも備え、遊技の進行を遅延させるフリーズ演出を実行可能な遊技機において、制御装置100は、所定条件が定められるとともに、当該所定条件に対応するフリーズ演出の実行タイミング及び遊技の進行の停止内容が定められたフリーズ演出データを複数記憶するフリーズ演出データ記憶手段211と、各フリーズ演出データに対応して定められた優先順位を記憶する優先順位記憶手段212と、フリーズ演出データに基づいてフリーズ演出を実行するフリーズ演出実行手段230と、を少なくとも備え、フリーズ演出データには、フリーズ演出の実行タイミングとして、所定条件を満たした遊技、又は、所定条件を満たした遊技から所定回数後の遊技のいずれかが定められ、フリーズ演出実行手段230は、所定条件を満たすことにより、当該所定条件が定められたフリーズ演出データに基づいてフリーズ演出を実行するものの、複数のフリーズ演出データの所定条件が満たされたことにより、同一の遊技において複数のフリーズ演出が実行されることとなる場合には、前記遊技において、定められている優先順位の高いフリーズ演出データに基づくフリーズ演出を優先的に実行することの特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

(第4の発明)

第4の発明は、回転リール25の回転を開始させるスタートスイッチ37と、回転リール25の回転を停止させるストップスイッチ38と、遊技に関する制御を行う制御装置100と、を少なくとも備え、遊技の進行を遅延させるフリーズ演出を実行可能な遊技機において、制御装置100は、所定条件が定められるとともに、当該所定条件に対応するフリーズ演出の実行タイミング及び遊技の進行の停止内容が定められたフリーズ演出データを複数記憶するフリーズ演出データ記憶手段211と、フリーズ演出データに基づくフリーズ演出を実行するフリーズ演出実行手段230と、を少なくとも備え、フリーズ演出データには、フリーズ演出の実行タイミングとして、所定条件を満たした遊技、又は、所定条件を満たした遊技から所定回数後の遊技のいずれかが定められ、フリーズ演出実行手段230は、所定条件を満たすことにより、当該所定条件が定められたフリーズ演出データに基づいてフリーズ演出を実行するものの、複数のフリーズ演出データの所定条件が満たされることにより複数のフリーズ演出が実行されることとなる場合には、これらのフリーズ演出データに基づくフリーズ演出を実行せず、他のフリーズ演出データに基づくフリーズ演出を実行することの特徴とする。